

実践

やさしい咬合理論

国際的咬合理論に基づく入門書

著者 外川 正 (歯科医師) 外川歯科医院院長

監修 藤村 朗 (歯学博士) 岩手医科大学解剖学講座教授

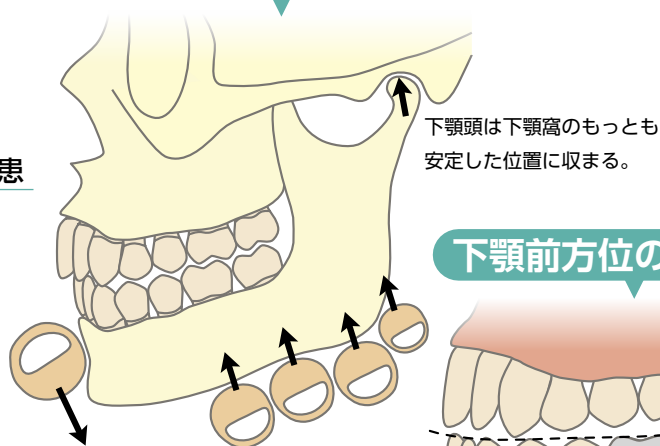


B5版 74ページ 定価3,200円+税

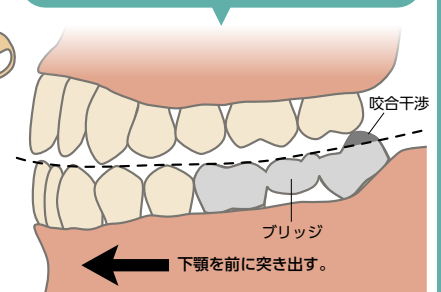
咬合理論の意義

- 1 補綴物装着時の適正な咬合調整
- 2 不適切な咬合の発見と治療
- 3 咬合病の分析・診断・治療
- 4 オーラルリハビリテーション
- 5 正常咬合の証明(咬合病の否定)

中心位の採得



下顎前方位の不正咬合



【もくじ】

第1章 咬合理論

1. 意義
2. 歴史

第2章 咀嚼器官

1. 顎関節
2. 咬合平面
3. 咬合高径

第3章 咬合分析

1. 問診
2. 中心位の診察
3. 偏心位咬合干渉の確認
4. 半調節性咬合器に
マウントした診断用模型
5. 咬合分析診断書

第4章 疾患名と診断

1. 顎関節症
2. 咬合病
3. 疾患名
4. 診断

第5章 顎関節症から 分離すべき疾患

1. 変形性顎関節症
2. 外側翼突筋の障害
3. 円板後部組織の障害
4. 関節円板後方転位
5. 心因性の顎関節症
6. その他の疾患

第6章 咬合治療

1. EBM
2. 治療目標の設定
3. 咬合調整の原則と手順
4. オクルーザルスプリント療法
5. 歯周疾患に対する咬合治療
6. ブラキシズムに対する咬合治療
7. 下顎骨骨折に伴う咬合再構成